

お出かけ支援アプリⅡ

要求定義書

第 1.0 版

20**年 12 月 18 日

システム開発演習 B
2172010・有馬祥太

(指示内容)

教科書 1 「ずっと受けソフトエンジニア新人研修_第 3 版」の図 3.1 を参照して、

1. 顧客の要求 (打合せの際に伝えられた文章等をそのまま転記して下さい)

私たちの旅行業界では、コロナ禍の影響で「遠出の外出」が控えられていましたが、オミクロンワクチンの接種や感染対策の充実、そして飲み薬の適用開始の見通しが立ってきましたので、来年度以降の事業計画のために、「お出かけ支援アプリⅡ」の開発をお願いしたいと思っています。このアプリのおおよそのイメージを伝えますので、開発可能な製品のイメージをきちんとした形にまとめていただけますか。

お客様が旅行される時には、やはり大事なのは天候なんですよ。アプリでは、出発地と到着地の天候を、いつでも簡単にわかるとうれしいですね。天候によって、おすすめ見学ポイントも変えたいのですが、これって必ず組み込んでください。たしか、OpenWeather API という気象情報サービスがあって、200,000 以上の都市の気象データに、アプリからアクセスできるそうですね。これを使って、お客様が旅行するときの、「出発地・経由地・目的地」の天候情報について、スマホで簡単に見て準備できるようにしてほしいと思います。

(<https://openweathermap.org/api>)。

(注：ちなみに、この OpenWeather API は、教科書 2 の第 11 章で解説されていますので、そのサンプルプログラムを土台として下さい。)

海外の人はグループで来るから、待ち合わせのための機能がほしいですね。使う人が、待ち合わせ時刻の天候を参考にして、待ち合わせ場所を屋内にするか、屋外の目立つ場所にするかを考えられるように、十分な情報をわかりやすく提供してくださいね。自分の位置情報 (GPS など取得) を、メールで仲間に「一斉に」連絡したいですね。そのとき、カメラ機能と連携して、待っている場所の写真を撮って送ってほしいですね。海外の人のために、スマホの言語設定に応じて、「英語」と「日本語」での切り替え表示は必須かな。歩きながら使うことを考えて、操作は簡単で、集中しすぎないようにお願いします。周囲の危険に気付かないととっても危ないですから。それから、なるべく多くの人を持つ Android スマホのバージョンで動くようにしてほしいんですよ。できれば、現在使われている Android 系スマホの 90% 以上で動くことが望ましいですね。最後に、製品の納品は、要件定義書に合意してから 3 ヶ月以内でお願いします。アプリの開発予算は 800 万円、連携するサーバーを含めたシステム予算は 3,000 万円以内でお願いします。それと、とにかくアプリはサクサク動くように考えて下さいね。では、よろしくお願いしますね。

2. 顧客の要求の列挙

- ① 出発地、到着地の天気情報
- ② 出発地、到着地の地図情報
- ③ 待ち合わせ共有機能
- ④ 日英言語切り替え機能
- ⑤ おすすめスポットの検索
- ⑥ 歩きスマホに対応

以上